2025年5月30日

2025年度　燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査

（第3回　5月下旬分）

香川県水産試験場　環境・資源研究課　（植田）
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は、前年及び平年を下回った。

前年	2024年5月17日	（7点の平均）	58.8	個/m^3
前回	2025年5月1日	（7点の平均）	4.9	個/m^3
今回	2025年5月22日	（7点の平均）	6.0	個/m^3
		※5月下旬の平年値	47.2	個/m^3

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年及び平年を下回った。

前年	2024年5月17日	（7点の平均）	11.5	尾/m^3
前回	2025年5月1日	（7点の平均）	1.4	尾/m^3
今回	2025年5月22日	（7点の平均）	1.1	尾/m^3
		※5月下旬の平年値	6.4	尾/m^3

○プランクトン調査

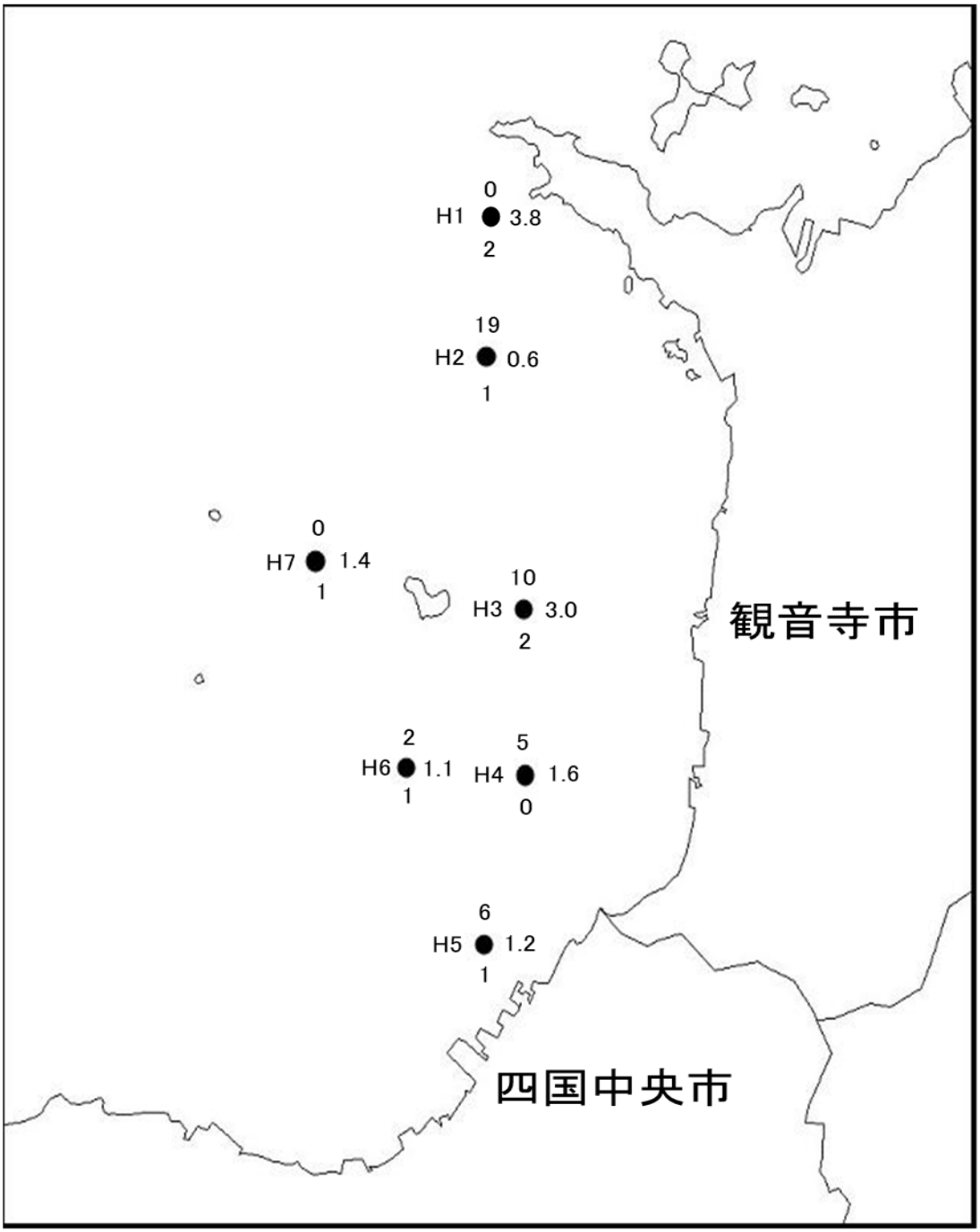
プランクトンは、夜光虫（ノクチルカ）が優占した。
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、前年及び平年を上回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を上回った。

次回の調査は**6月3日（火）**に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況（2025/5/22）



凡例 ● 21 ← 卵密度 / 0.6 ← カイアシ類密度 / 5 ← 仔魚密度

●の上側がカタクチイワシ卵密度（卵数/㎥）を，
下側がカタクチイワシ仔魚密度（仔魚数/㎥）を，
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/㎥)を示す。
※カイアシ類量は、プランクトン採集量（0.335㎜以上）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。
※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

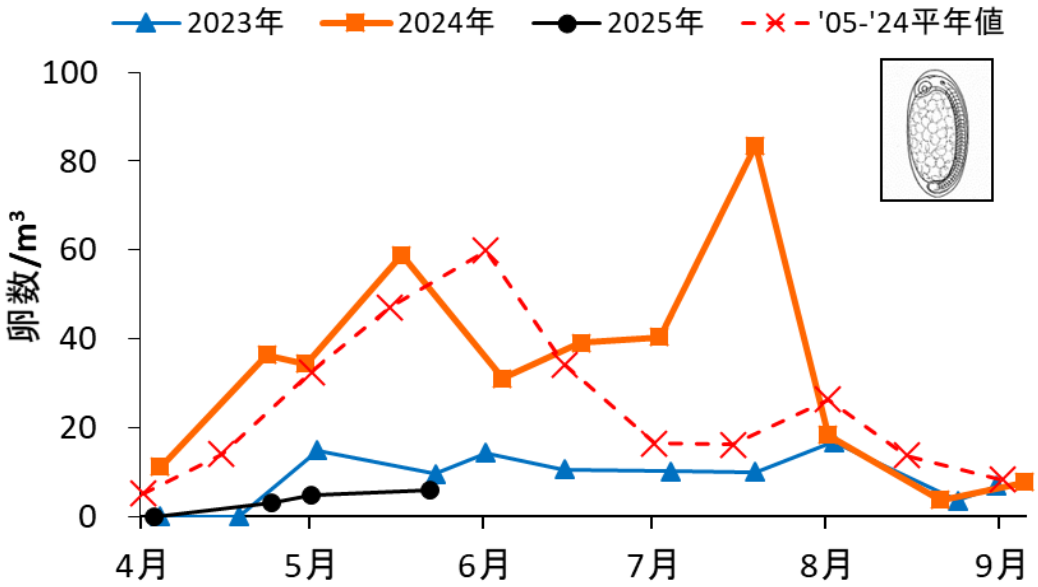


図. カタクチイワシ卵数の推移

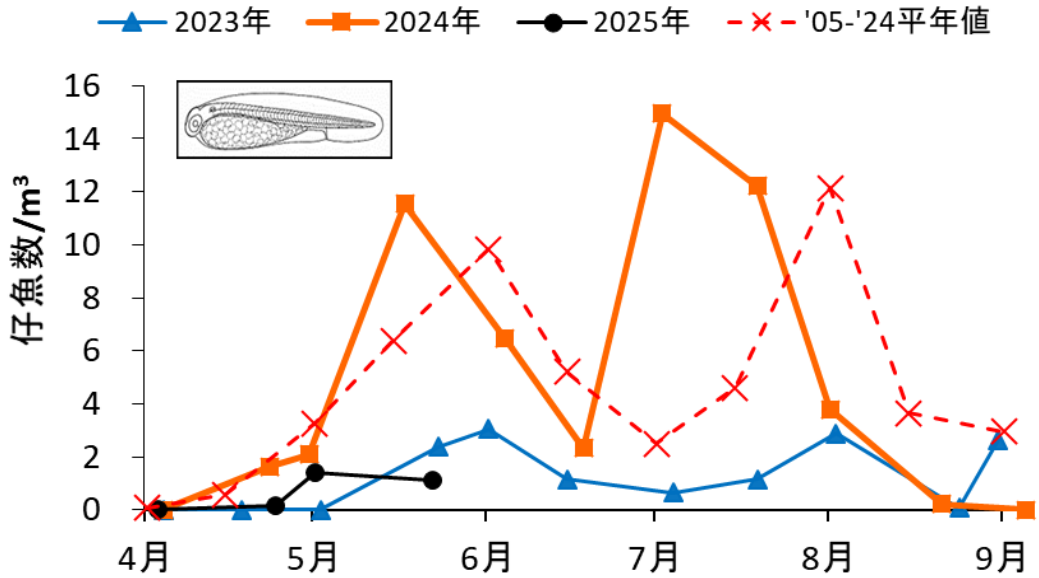


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

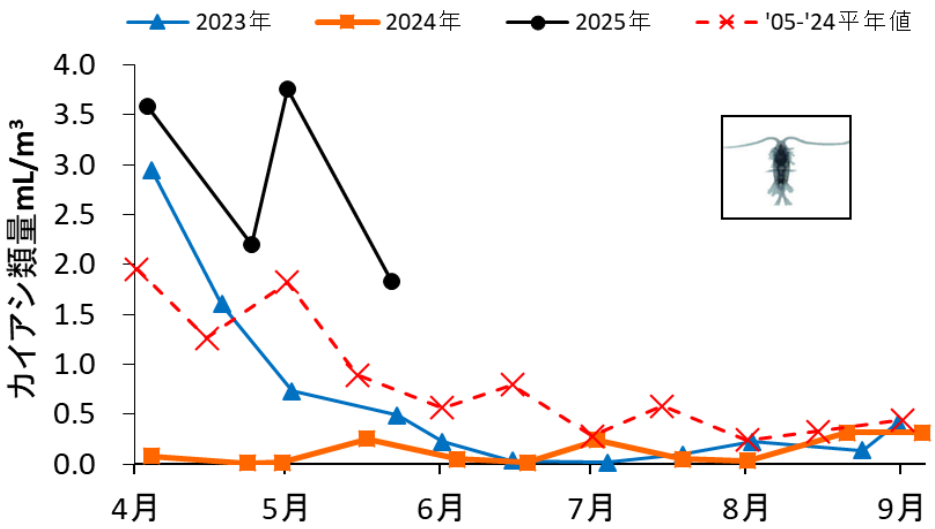


図. カイアシ類量の推移

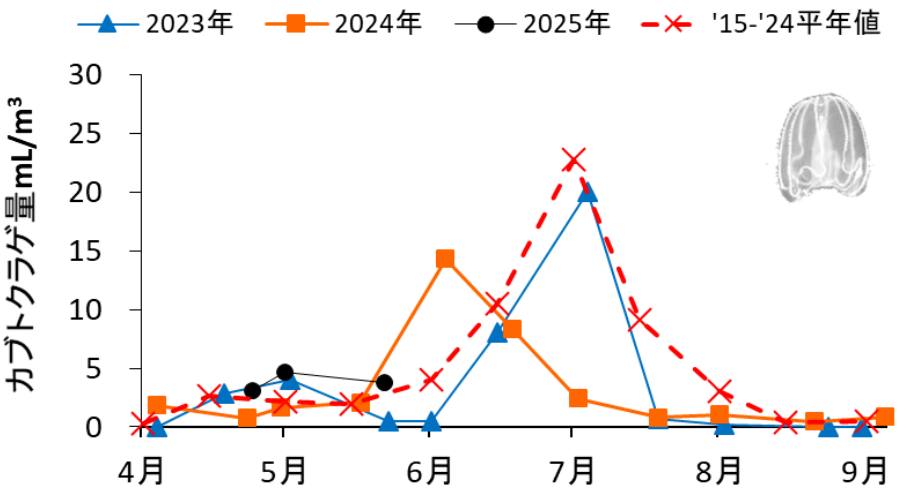


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。
※カブトクラゲは、丸特Ｂネットによる全定点の平均採集量。
※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2025 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査（3回目）

調査日： 2025/5/22

ＳＴ	曳網水深 (m)	表層水温 (℃)	ｶﾀｸﾁ卵	ﾏｲﾜｼ卵	その他卵	ｶﾀｸﾁ仔魚	ﾏｲﾜｼ仔魚	その他稚仔
H1	20	19.8	1	0	3	4	0	9
H2	20	19.7	45	0	10	3	0	0
H3	20	20.9	24	0	3	5	0	0
H4	20	18.4	10	0	1	1	0	3
H5	20	19.6	15	0	6	3	0	6
H6	20	18.6	6	0	0	2	0	6
H7	20	20.6	1	0	0	2	0	5
平均		19.7	15	0	3	3	0	4

※卵稚仔数は採集数を示す。